ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　改善　ほぼ横ばい　悪化

中国

中国は、ほぼ横ばい。小売業では、ブランド品の値上げに伴う客単価上昇や高額品需要の底堅さに支えられ、時計・宝飾品店を中心に売上・採算が改善した。一方、サービス業では、消費者の節約志向の高まりや人手不足に伴う人件費の増加を受け、宿泊業を中心に売上・採算が悪化した。飲食店からは、売上自体は維持できているものの、人件費等のコスト上昇分を価格に転嫁しきれず、収益が圧迫されている、との声が聞かれた。

四国

四国は、悪化。製造業では、中東情勢の緊迫化に伴うナフサ由来資材の価格高騰や物流費上昇の影響を受け、食料品製造業や繊維製品製造業を中心に売上・採算が悪化した。繊維製品製造の事業者からは、梱包資材や輸送費の高騰が続くなか、継続的な価格転嫁の仕組みづくりが課題となっている、との声が聞かれた。卸売業では、新築住宅の需要低迷を受け、建築金属材料を中心に売上が悪化した。

九州

九州は、悪化。建設業では、新築住宅の需要低迷に加え、人手不足や資材の調達困難化が重なり、売上・採算が悪化した。土木工事業の事業者からは、人手や資材の不足に加え、現場での熱中症対策コストも増えており、収益を圧迫している、との声が聞かれた。小売業では、猛暑による来店客数の減少を受け、衣料品等の需要が伸び悩み、百貨店を中心に売上・採算が悪化した。

	2025年	2026年						先行き見通し
	7月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8～10月
全　国	▲ 18.9	▲ 16.8	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 24.3	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 21.2
北海道	▲ 14.9	▲ 14.2	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 17.4	▲ 18.9	▲ 11.5	▲ 13.8
東　北	▲ 31.7	▲ 30.0	▲ 41.4	▲ 32.1	▲ 41.0	▲ 30.4	▲ 29.4	▲ 26.9
北陸信越	▲ 21.2	▲ 23.5	▲ 27.3	▲ 29.6	▲ 27.5	▲ 25.4	▲ 25.6	▲ 27.8
関　東	▲ 14.9	▲ 12.4	▲ 13.4	▲ 15.8	▲ 17.7	▲ 22.0	▲ 19.5	▲ 19.3
東　海	▲ 16.5	▲ 16.0	▲ 20.6	▲ 27.0	▲ 24.1	▲ 19.3	▲ 15.9	▲ 16.3
関　西	▲ 17.5	▲ 11.8	▲ 15.6	▲ 16.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 23.7	▲ 25.3
中　国	▲ 21.5	▲ 10.9	▲ 15.6	▲ 17.1	▲ 22.9	▲ 21.3	▲ 22.0	▲ 20.5
四　国	▲ 22.7	▲ 25.2	▲ 25.4	▲ 26.8	▲ 33.1	▲ 22.0	▲ 26.4	▲ 21.6
九　州	▲ 18.4	▲ 15.9	▲ 21.2	▲ 24.6	▲ 29.2	▲ 21.1	▲ 24.7	▲ 25.3

※　…1.0ポイント以上改善　…1.0ポイント以上悪化

